



角田 理樹様

Riki Tsunoda



ベアマウンテンテニスアカデミー 選抜メンバー

僕は2020年の夏から英語とテニスを学ぶためにカナダ、ビクトリアに留学しています。

一人で飛行機に乗るのは初めてで、またコロナ禍の影響で搭乗制限が厳しくとても緊張しました。機内ではカナダの入国書類を英語で書くのに苦労しました。無事バンクーバー空港に到着しましたが、入国審査や移民局での就学許可の受領、税関などで様々な質問を英語で投げかけられてとても大変でした。しかしそこを過ぎると、乗継ぎフライトも問題もなく予定通りビクトリアに到着できました。ビクトリア空港ではコロナ対策のためホストファミリーではなく教育委員会のスタッフが出迎えてくれました。この瞬間僕は留学に来たと初めて実感しました。ホームステイ先に着くと14日間の隔離がありました。テニスもできず、部屋ですっと過ごす退屈な日々でした。そして隔離期間を終えるとテニスや学校生活が始まりました。最初はクラスになじめるのか、友達ができるのか、テニスのチー

ムメイトと仲良くなれるかという不安がありました。カナダに来る前に留学ガイドを見たりすると自分から話しかけないと友達はできないと書いてありましたが、まだ英語が全然話せなかった自分は話せる勇気もありませんでした。そんな僕が初めて現地の子と仲良くなれたのは3週間ほどたってから、テニスのチームメイトとでした。練習を一緒にしているうちに自然と会話が生まれ仲良くなっていました。学校では日本に興味を持った子がたくさん話しかけてくれました。僕はそうやって話しかけてくれたことをチャンスと思い、頑張って話をつなげて徐々にクラスメイトとも仲良くなってきました。コロナの影響でクラスが2ヶ月ごとに変ってしまうので、仲良くなってもすぐに会えなくなってしまいうし、一緒に外食などもあまりできないです。しかし英語に慣れてくれば、自分から話しかけることも簡単になってきます。すぐに自分から話しかけられなくても僕は日本人ということ、テニスをやっているということが友達作りの鍵になりました。

の内容も先生の言っていることも分からない状況でした。先生に相談し、毎週2時間ほど先生に個別で補習をしてもらいました。何も相談しなければこんなに有難いことはしてもらっていないと思うのでとにかく先生に聞くのが重要だと思いました。そうして授業の内容にはついていけるようになってきましたが、時々クラスの人とグループワークをすることがありました。今ではある程度話し合うことができますが、以前は本当に地獄のような時間でした。みんな何を喋っているか分からない状態で話を振られると何も喋れず、結局話し合いにはほとんど参加することができませんでした。今でも専門的な用語が出てきたりすると困ってしまうことがあります。とにかく初めの3、4ヶ月は分からないければ先生に聞いて、たくさん助けを借りていました。日本人がいない中、自分から積極的に行動することが大事だと感じました。僕は日本ではこのような力がなかったので、そんな僕にはとてもいい経験になりました。



カナダテニスカップチーム元監督 ロバート・ビター氏

留学当初、学校の授業はほとんど聞き取れずついて行けませんでした。しかも最初のクラスが文学作品を読解するという日本語でもあまり得意ではないことをやる授業でした。本



教育委員会スタッフ ジョアンさん

学校の授業はコロナの影響のため2教科ずつを2ヶ月ごとに4学期間に分けて合計8教科を受けています。現在5教科目と6教科目を受けています。数学や理科は日本よりも簡単で日本の授業の復習のような感じです(専門用語が多くて英語が大変ですが)。特に楽しいのは「I.T.」と木工です。ITでは3Dプリンターで好きなものを作ったり、木工ではすごく大きい木材から様々な機械を使って好きなものを作ったりと、日本ではできないことができ、時間を忘れてしまうほど楽しかったです。コロナのため期末テストなどはありませんが、代わりに小テストがあったり課題が出ます。課題は日本よりも自由度が高く、創意工夫が求められます。難しくもありますが、やっているととても楽しいです。

僕はロバート・ビター氏からテニスの指導を受けています。ロバート氏はカナダデビスカップチームの元監督で有名な方です。とても優しくスマートなテニスをする方です。戦術であったり、技術面では日本では教わったことのないことをたくさん教えてくれます。週3回ベアマウンテ



ホストブラザー

ンテニスアカデミーで選ばれた8人と一緒にレッスンを受けます。またロバート氏から週1回プライベートレッスンと別の日に同じグループの生徒とレッスンを受けます。グループレッスン、プライベートレッスン共に球出しはあまりなく、ラリーや試合形式の練習が多く、日本に比べてダブルスも多いですね。練習時間は日本よりも短く、ハードな練習もありません。僕的には体のコンディションが良いまま練習に毎回取り組めるし、集中力が途切れることがないのでとても気に入っています。インドアコートが多いので天候に関係なくテニスが行えとても良い環境です。

僕はとても良いホストファミリーと一緒に楽しく過ごさせてもらっています。15歳と7歳のホストブラザー



がいます。ホストマザーやホストファミリーは何か相談があれば聞いてくれて、とても料理も美味しいです。15歳の子とは一緒に学校に行ったり、昼食を一緒に食べ仲良くしています。7歳の子とは週末などに一緒に遊んでいます。夏休みには川に連れて行ってもらったり、ハロウィンやクリスマス、Thanksgiving dayは本場の文化を体験させてもらい、日本に体験できない異文化を思う存分経験しています。

最後にこのような留学が出来るのは全て両親や家族、そしてアドミッション留学センターの小林さんのおかげだと思っています。親への感謝、大切さも今更ながらに実感しています。

注) IT : Information & Communication Technology



ロバートビター氏のプライベートレッスン



ホストファミリー